

【商工・技術革新】

昨年、航空機を利用した小型衛星の水平型打ち上げ事業を手掛ける米企業の拠点「スペースポート（宇宙港）」に、大分空港がアジアで初めて選ばれました。



スペースポート推進事業（1億7,150万円）と**スペースポート受入環境整備事業（499万円）**【**東部振興局**】では、運用方法や経済循環の創出に関する調査等を実施するほか、隣接地に整備する展望エリアの設計を行います。宇宙港により、この先どのように経済効果や雇用創出が広がっていくのか注視しています。



進事業（800万円）は、おんせん県おおいた応援店の登録店舗拡大と公式オンラインショップの利用促進を進めます。

【農林水産】

今回、農林水産関係は多くの新規事業が組まれています。

次代へ繋ぐ園芸産地整備事業（21億1,388万円）は、認定新規就農者、親元就農者等による栽培施設の整備や後継者不在施設を継承する際の改修等に要する経費に対し助成するものです。

県内の住宅需要等を喚起し、県産材消費を拡大するため、**木材消費拡大対策事業（3億5,770万円）**では、県産材を使用した住宅等を建築する県民に経費等を支援します。

移住促進とも連携し、**農業活性化・スタートアップ圃場設置事業（3,100万円）**は、移住後速やかな就農や兼業での就農を希望する方など多様な担い手を確保・育成するため、リース方式の圃場を整備します。

【移住促進・雇用創出】

スキルアップ移住推進事業（2,412万円）では、求人が堅調なIT分野への就職・転職による移住を促進するため、dot.（4ページに報告）を活用したイベントを開催するとともに、IT技術の取得講座等を実施します。

感染症拡大の影響による離職者の再就職支援として、**新型コロナウイルス対応離職者再就職支援事業（1,257万円）**では、大分労働局等と連携し転職促進セミナーの開催や支援コーディネーターの配置など、人材が不足している分野への転職等を支援します。

【福祉】

SNS子育て相談体制整備事業（1,358万円）は、子育てが気軽に相談できる体制の充実を図るため、24時間年中無休で受け付ける「いつでも子育てほっとライン」にLINEを活用した相談機能を追加します。

発達障がい児の早期発見・早期支援では、相談支援や支援先の受入調整等を行うコンシェルジュを各圏域に配置するとともに、相談・診療ができる小児科医などの養成等に取り組む**発達障がい児地域支援体制整備事業（3,918万円）**を進めます。

【生活環境・防犯】

行政手続電子化加速事業（1,641万円）は、県民の利便性向上及び行政運営の効率化を図るため、行政手続の電子化を推進するとともに、電子申請の利用促進に取り組みます。

コロナ禍で利用者が減少している交通機関の早期利用回復を図るため、各交通事業者の特性を生かした商品作りを支援する**公共交通活性化促進事業（1億8,916万円）**を計上。

地域見守り力向上事業（870万円）では、自主防犯パトロール隊や自治会等による地域の見守り力向上の取り組みを支援します。



別府市庄園町民生委員・児童委員の方々による登校見守り活動の様子

【教育】

未来を創るGIGAスクール推進事業（1,808万円）は、小・中学校でのICT活用による授業改善等を推進するものです。

コロナ禍における児童生徒の学びの保障と安全で安心な学習環境を確保するため、**教員業務サポートスタッフ等派遣事業（8億6,581万円）**は、きめ細かな指導を行う学習指導員及び消毒等の事務作業を支援するスクールサポートスタッフを配置します。

通学時にスクールバスを利用する特別支援学校児童生徒の感染リスクの低減を図るため、スクールバスの臨時増便を行う**特別支援学校通学時感染防止対策事業（1億8,652万円）**も計上されています。

2018年度から進められている**子どもの居場所づくり推進事業（1,334万円）**では、子ども食堂の新規立ち上げ支援に加え、新たにモデル小・中学校での朝食の定期的な無料提供の実施を追加。しかし、学校での朝食提供は教職員に負担をかけますし、朝食を欠く子どもたちへ、パンと牛乳のような簡単な朝食を自ら準備できるように支援することが重要ではないかと予算特別委員会で意見を述べました。

私が所属しています県民クラブもHPを開いていますので御覧ください。

<http://www.oct-net.ne.jp/kenmin-club/>

大分県議会 県民クラブ

検索

